



A

4-6

楽しい朝

みわさ

A

いのち

朝

B

B

齢

B

齢

齢の話

・御怒り
・空しい

14-16

移ろ草

A

いのち

A

生まれる前
主はにえ

B

帰

朝

年

90

神の人モーセの祈り

（世界が
生まれる前）



人の子

- ・人の子を帰らせる。
- ・「帰って来て下さい」

- ・主は住み = とこえ
- ・私たちの齢 = 一息

主のみわさ
17 私たちの神、主のご慈愛が、
私たちの上にありますように。
そして、私たちの手のわざを
確かなものにしてください。
どうか、私たちの手のわざを
確かなものにしてください。

16 あなたのみわざをあなたのしもべらに、
あなたの威光を彼らの子らに見せてください。
15 あなたが私たちを悩まされた日々と、
私たちがわさわさに会った年々に応じて、
私たちを楽しませてください。
14 私たちを満ち足らせ、
私たちのすべての日に、喜び歌い、
楽しむようにしてください。

13 帰って来て下さい。
主よ。いつまでこのようなのですか。
あなたのしもべらを、あわれんでください。
12 それゆえ、私たちに
自分の目を正しく教えることを教えてください。
11 私たちが御怒りの力を知っているでしょう。
だが、あなたの激しい怒りを知っているでしょう。
その恐れにふさわしく。

10 私たちの齢は七十年。
健康であつても八十年。
しかも、その誇りとするところは
労苦とわさわいです。
それは早く過ぎ去り、私たちも飛び去るのです。
11 私たちが御怒りの力を知っているでしょう。
だが、あなたの激しい怒りを知っているでしょう。
その恐れにふさわしく。

8 私たちの秘めごとを御顔の光の中に置かれます。
まことに、私たちのすべての日は
あなたの激しい怒りの中に沈み行き、
私たちは自分の齢をひと息のように終わらせます。
健康であつても八十年。
しかも、その誇りとするところは
労苦とわさわいです。
それは早く過ぎ去り、私たちも飛び去るのです。

7 まことに、私たちは
あなたの御怒りによって消えうせ、
あなたの激しい憤りにおじ惑います。
あなたは私たちの不義を御前に、
私たちの秘めごとを御顔の光の中に置かれます。
まことに、私たちのすべての日は
あなたの激しい怒りの中に沈み行き、
私たちは自分の齢をひと息のように終わらせます。
健康であつても八十年。
しかも、その誇りとするところは
労苦とわさわいです。
それは早く過ぎ去り、私たちも飛び去るのです。

6 朝は、花を咲かせているが、また移ろい、
夕べには、しおれて枯れます。
7 まことに、私たちは
あなたの御怒りによって消えうせ、
あなたの激しい憤りにおじ惑います。
あなたは私たちの不義を御前に、
私たちの秘めごとを御顔の光の中に置かれます。
まことに、私たちのすべての日は
あなたの激しい怒りの中に沈み行き、
私たちは自分の齢をひと息のように終わらせます。
健康であつても八十年。
しかも、その誇りとするところは
労苦とわさわいです。
それは早く過ぎ去り、私たちも飛び去るのです。

5 あなたが人を押し流すと、
彼らは、眠りにおちます。
朝、彼らは移ろ草のようです。
朝は、花を咲かせているが、また移ろい、
夕べには、しおれて枯れます。
7 まことに、私たちは
あなたの御怒りによって消えうせ、
あなたの激しい憤りにおじ惑います。
あなたは私たちの不義を御前に、
私たちの秘めごとを御顔の光の中に置かれます。
まことに、私たちのすべての日は
あなたの激しい怒りの中に沈み行き、
私たちは自分の齢をひと息のように終わらせます。
健康であつても八十年。
しかも、その誇りとするところは
労苦とわさわいです。
それは早く過ぎ去り、私たちも飛び去るのです。

4 まことに、あなたの目には、
千年も、きのうのように過ぎ去り、
夜回りのひとときのようなです。
5 あなたが人を押し流すと、
彼らは、眠りにおちます。
朝、彼らは移ろ草のようです。
朝は、花を咲かせているが、また移ろい、
夕べには、しおれて枯れます。
7 まことに、私たちは
あなたの御怒りによって消えうせ、
あなたの激しい憤りにおじ惑います。
あなたは私たちの不義を御前に、
私たちの秘めごとを御顔の光の中に置かれます。
まことに、私たちのすべての日は
あなたの激しい怒りの中に沈み行き、
私たちは自分の齢をひと息のように終わらせます。
健康であつても八十年。
しかも、その誇りとするところは
労苦とわさわいです。
それは早く過ぎ去り、私たちも飛び去るのです。

3 あなたは人をちりに帰らせて言われます。
「人の子らよ、帰れ。」
4 まことに、あなたの目には、
千年も、きのうのように過ぎ去り、
夜回りのひとときのようなです。
5 あなたが人を押し流すと、
彼らは、眠りにおちます。
朝、彼らは移ろ草のようです。
朝は、花を咲かせているが、また移ろい、
夕べには、しおれて枯れます。
7 まことに、私たちは
あなたの御怒りによって消えうせ、
あなたの激しい憤りにおじ惑います。
あなたは私たちの不義を御前に、
私たちの秘めごとを御顔の光の中に置かれます。
まことに、私たちのすべての日は
あなたの激しい怒りの中に沈み行き、
私たちは自分の齢をひと息のように終わらせます。
健康であつても八十年。
しかも、その誇りとするところは
労苦とわさわいです。
それは早く過ぎ去り、私たちも飛び去るのです。

主・永遠

主怒・人齢

主怒・知恵

主はにえ、人はちりに帰る。

わさわい

筆

避

病

○避

近

避

A
足 → 足

踏

呼・答

長いもの

1 いと高き方の隠れ場に住む者は、
全能者の陰に宿る。

2 私は主に申し上げよう。

3 「わが避け所、わがとりで、
私の信頼するわが神。」と。

4 主は狩人のわなから、
恐ろしい疫病から、

あなたを救い出されるからである。

5 主は、ご自分の羽で、あなたをおおわれる。
あなたは、その翼の下に身を避ける。

6 主の真実は、大盾であり、とりである。

7 あなたは夜の恐怖も恐れず、
昼に飛び来る矢も恐れない。

8 また、暗やみに歩き回る疫病も、暗
真昼に荒らす滅びをも。

9 千人が、あなたのかたわらに、
万人が、あなたの右手に倒れても、

それはあなたには、近づかない。
悪者への報いを見るだけである。

10 それはあなたが私の避け所である主を、
いと高き方を、あなたの住まいとしたからである。

11 わざわいは、あなたにふりかからず、
えやみも、あなたの天幕に近づかない。

12 まことに主は、
あなたのために、御使いたちに命じて、
すべての道で、あなたを守るようにされる。

13 彼らは、その手で、あなたをささえ、
あなたの足を
石に打ち当てることのないようにする。

14 あなたは、獅子とコブラとを踏みつけ、
若獅子と蛇とを踏みにじろう。

15 彼がわたしを愛しているから、
わたしは彼を助け出そう。

16 わたしは彼を高く上げよう。
彼がわたしの名を知っているから、
わたしは彼を高く上げよう。

わたしは、彼に答えよう。
わたしは苦しみのときに彼とともにいて、
彼を救い彼に誉れを与えよう。

わたしは、彼を長いもので満ち足らせ、
わたしの救いを彼に見せよう。

ともにいる

いと高き方

翼 羽

恐

い

いと高き方

近づかない

「御使いたち」

救病

・えやみは近づかない
・神様はともにいる

- ・ 1-7 主の避け所
- ・ 8-9 悪報の避け所
- ・ 10-14 悪報の上
- ・ 15-16 呼答の救命

病

主は守ってくださる・サタンから救う

・主の病から救う
・主の悪報から救う

90: 自分の問題

91: 外的な問題

主は避け所 - 病から救う

真実と恵みを言います

A

真実を言います

1 主に感謝するのは、良いことです。
いと高き方よ。あなたの御名にほめ歌を歌うことは。
2 朝に、あなたの恵みを、
夜ごとに、あなたの真実を言い表わすことは。
3 十弦の琴や六弦の琴、
それに立琴によるたえなる調べに合わせて。

琴

みわざ = みわざ

愚者

みわざ
→ 愚者は知らない

栄

敵は栄えも減る

角は高く上げられる。
見付。

正しい者は栄える

栄

正しいこと

A

正しいことを告ぐ

15 こうして彼らは、主の正しいことを告げましょう。
主は、わが岩。主には不正がありません。
14 彼らは年老いてもなお、実を実らせ、
みずみずしく、おい茂つていましょう。
13 彼らは、主の家に植えられ、
私たちの神の大庭で栄えます。
12 正しい者は、なつめやしの木のように栄え、
レバノンの杉のように育ちます。
11 私の目は私を待ち伏せている者どもを見下し、
私の耳は
私に立ち向かう悪人どもの悲鳴を聞きます。
10 しかし、あなたは私の角を
野牛の角のように高く上げ、
私に新しい油をそそがれました。
9 おお、主よ。今、あなたの敵が、
不法を行なう者どもがみな、散らされるのです。
8 しかし主よ。
あなたはとこしえに、いと高き所におられます。
7 悪者どもが青草のようにもえいでようと、
不法を行なう者どもがみな栄えようと、
それは彼らが永遠に滅ぼされるためです。
6 まぬけ者は知らず、
愚か者にはこれがわかりません。
5 主よ。あなたのみわざは
なんと大きいことでしょう。
あなたの御計らいは、いとも深いのです。
4 主よ。あなたは、あなたのなさったことで、
私を喜ばせてくださいましたから、
私は、あなたの御手のわざを、喜び歌います。
3 主よ。あなたのみわざは
なんと大きいことでしょう。
あなたの御計らいは、いとも深いのです。
2 まぬけ者は知らず、
愚か者にはこれがわかりません。
1 悪者どもが青草のようにもえいでようと、
不法を行なう者どもがみな栄えようと、
それは彼らが永遠に滅ぼされるためです。
8 しかし主よ。
あなたはとこしえに、いと高き所におられます。
9 おお、主よ。今、あなたの敵が、
不法を行なう者どもがみな、散らされるのです。
10 しかし、あなたは私の角を
野牛の角のように高く上げ、
私に新しい油をそそがれました。
11 私の目は私を待ち伏せている者どもを見下し、
私の耳は
私に立ち向かう悪人どもの悲鳴を聞きます。
12 正しい者は、なつめやしの木のように栄え、
レバノンの杉のように育ちます。
13 彼らは、主の家に植えられ、
私たちの神の大庭で栄えます。
14 彼らは年老いてもなお、実を実らせ、
みずみずしく、おい茂つていましょう。
15 こうして彼らは、主の正しいことを告げましょう。
主は、わが岩。主には不正がありません。

悪者：栄えけど減る

→ 青草

正者：栄える → なつめやし
レバノンの杉



説明文

契約の箱

→ あかしの箱
御力の箱

紅海

川 → ヨルダン川

5-4 3 2 1

川は声あけず

世界と御座は堅く建たれている。

力は身に帯びる

主はまといおられる。

主は、王であられ、みいつをまといおられます。

主はまといおられます。

力を身に帯びておられます。

まことに、世界は堅く建てられ、堅く立つ。

揺らぐことはありません。

あなたの御座は、いにしえから堅く立ち、

あなたは、とこしえからおられます。

主よ。川は、声をあげました。

川は、叫び声をあげました。

川は、とどろく声をあげています。

大水のとどろきにまさり、

海の力強い波にもまさって、

いと高き所にいます主は、力強くあられます。

あなたのあかしは、まことに確かです。確かである。

聖なることがあなたの家にはふさわしいのです。

主よ、いつまでも。↓ いつまでも

- 主カ
1. 主、堅建
 2. 御座、永遠
 - 3-4. 川叫、主カ
 5. 主家、永遠

93

→ 主は王である。

筆

滅

法廷

立上

見捨

幸

気づけ

気づかない
弱者を殺す

立上

主の復讐

主はいつで
不義のために

23 われらの神、主が、彼らを滅ぼされま
22 主は彼らの不義をその身に返し、不義
21 主は彼らに、正しい者のいのちを求めて共に集まり、
20 罪に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
19 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
18 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
17 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
16 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
15 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
14 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
13 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
12 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
11 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
10 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
9 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
8 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
7 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
6 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
5 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
4 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
3 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
2 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。
1 私に定めて、罪を犯さない人の血を流します。

義のさばき

義のさばき

立ち上ってください主

たまり・立ち上ってください

立ち上る
堅く立つ

民

キ

15 さばきは再び義に戻り、義
14 心の直ぐな人はみな、これに従うでしょう。
13 だれが、私のために、悪を行なう者に向かって
12 立ち上がるのでしょうか。
11 だれが、私のために、悪を行なう者に向かって
10 立ち上がるのでしょうか。
9 だれが、私のために、悪を行なう者に向かって
8 立ち上がるのでしょうか。
7 だれが、私のために、悪を行なう者に向かって
6 立ち上がるのでしょうか。
5 だれが、私のために、悪を行なう者に向かって
4 立ち上がるのでしょうか。
3 だれが、私のために、悪を行なう者に向かって
2 立ち上がるのでしょうか。
1 だれが、私のために、悪を行なう者に向かって

戒め

「気づけ」+ 戒め、知識

主は知えおる

戒め

12 主よ。
11 主は、人の思い計ることがいかにむなしいかを、
10 知っておられる。
9 主よ。
8 なんと幸いなことでしょう。
7 あなたに、戒められ、
6 あなたの心おしえを教えられ、その人は、
5 平安を賜われるからです。
4 その間に、悪者のためには穴が掘られます。
3 まことに、主は、ご自分の民を見放さず、
2 ご自分のものである民を、お見捨てになりません。
1 さばきは再び義に戻り、義

戒め
おしえ

戒め
おしえ

「気づかない」

いつまで、悪者の攻撃

民

ガ

1 復讐の神、主よ。
2 復讐の神よ。光を放ってください。
3 地をさばく方よ。立ち上がってください。
4 高ぶる者に報復してください。
5 主よ。悪者どもはいつまで、
6 いつまで、悪者どもは、勝ち誇るのでしょうか。
7 彼らは放言し、横柄に語り、
8 不法を行なう者はみな自慢します。
9 主よ。彼らはあなたの民を打ち砕き、
10 あなたのものをあなたの民を悩まします。
11 彼らは、やめやめや在留異国人を殺し、
12 みなしごたちを打ち殺します。
13 こうして彼らは言っています。
14 「主は見ることはない。ヤコブの神は気づかない。」
15 気づけ。民のうちのまぬけ者ども。
16 愚か者ども。おまえらは、
17 いつになつたら、わかるのか。
18 耳を植えつけられた方が、
19 お聞きにならないだろうか。
20 目を造られた方が、ご覧にならないだろうか。
21 国々を戒める方が、お責めにならないだろうか。
22 人に知識を教えるその方が。
23 主は、人の思い計ることがいかにむなしいかを、
24 知っておられる。

・神様が知っていることを。
・悪者は知らない。

復讐・報復

立上

ガ

1 復讐の神、主よ。
2 復讐の神よ。光を放ってください。
3 地をさばく方よ。立ち上がってください。
4 高ぶる者に報復してください。
5 主よ。悪者どもはいつまで、
6 いつまで、悪者どもは、勝ち誇るのでしょうか。
7 彼らは放言し、横柄に語り、
8 不法を行なう者はみな自慢します。
9 主よ。彼らはあなたの民を打ち砕き、
10 あなたのものをあなたの民を悩まします。
11 彼らは、やめやめや在留異国人を殺し、
12 みなしごたちを打ち殺します。
13 こうして彼らは言っています。
14 「主は見ることはない。ヤコブの神は気づかない。」
15 気づけ。民のうちのまぬけ者ども。
16 愚か者ども。おまえらは、
17 いつになつたら、わかるのか。
18 耳を植えつけられた方が、
19 お聞きにならないだろうか。
20 目を造られた方が、ご覧にならないだろうか。
21 国々を戒める方が、お責めにならないだろうか。
22 人に知識を教えるその方が。
23 主は、人の思い計ることがいかにむなしいかを、
24 知っておられる。

いつまで

立上

怒者

悪者

罪のない者を罪に定める

悪者は悪のいえにさばかれる

16-

立ち上るで始まる
1-4の対比

i. 立上怒者
ii. 戒め 民返
iii. 立上 慰他
iv. x 戒 悪返

・報復
・復讐



「迷える羊」
感謝 喜羊創

A B A → 賛美の民 羊
主がすべてを造られた = ほめたまはる

【怒誓】 知 先代 知 先祖

「9-10」

11 それゆえ、わたしは怒って誓った。
確かに彼らは、わたしの安息に、はいれない。」と。

10 わたしは四十年の間、
その世代の者たちを忌みきらい、そして言った。
「彼らは、心の迷っている民だ。」

9 わたしを試み、わたしをためした。
すでにわたしのわざを見ておりながら、
あなとき、あなたがたの先祖たちは
あなながたの心をかたくなにしてはならない。

8 メリバでのときのように、
荒野のマサでの日のように、
あなたがたの心をかたくなにしてはならない。

7 私たちは、私たちの神。
主は、私たちの神。
私たちは、その牧場の民、その御手の羊である。

6 来たれ。
私たちは伏し拝み、ひれ伏そう。
私たちを造られた方、主の御前に、ひざまずこう。

5 海は主のもの。主がそれを造られた。
陸地も主の御手が造られた。

4 地の深みは主の御手のうちにあり、
山々の頂も主のものである。

3 主は大いなる神であり、
すべての神々にまさって、
大いなる王である。

2 感謝の歌をもって、御前に進み行き、
賛美の歌をもって、主に喜び叫ぼう。

1 さあ、主に向かつて、喜び歌おう。
われらの救いの岩に向かつて、喜び叫ぼう。

95

誓 知 忌 怒 先祖 御声 牧場 御前 主のもの 大なる神 喜叫

牧者、御前で感謝
荒野の民は安んじ、はいない。

新

- ・神の栄光
- ・主は来られる
- ・主の御前に行く
- ・御名の栄光
- ・天・地
- ・栄光を語り告げる

X3 4-4

主は王である

X3 4-4

(11-12)

さばき B
喜び歌う A
さばき B

「さばくために来られる」
「天地は御前に喜び」
主は王である
さばく

栄光 + 御前 A
栄光 + 御前 B
栄光 + 御前

国々の中で主の偉大さを語る。
大いなる賛美をささげよう

語り告げる

御名を賛美

96

13 確かに、主は来られる。
12 野とそこの中にあるものはみな、喜び勇め。
11 天は喜び、地は、こおどろし、天・地・海
10 主は公正をもって国々の民をさばく。
9 聖なる飾り物をつけて、主にひれ伏せ。
8 御名の栄光を主にささげよ。
7 国々の民の諸族よ。主にささげよ。
6 尊厳と威光は御前にあり、
5 まことに、主は天をお造りになった。天を造った。
4 まことに主は大いなる方、
3 主の栄光を国々の中で語り告げよ。
2 主に歌え。
1 新しい歌を主に歌え。
全地よ。主に歌え。

歌

X3

- ・1-2
- ・3-6
- ・7-10
- ・11-13

新しい歌サバキを歌

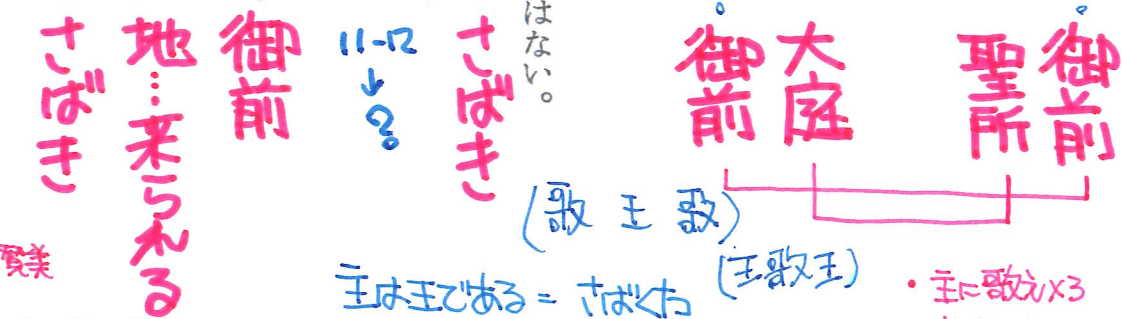
- ・ダビデ
- ・契約の箱の賛美

- ・1-2, 3-6
- ・7-9, 10-13

X3の話

新しい歌

主は王である / 王である、公正のさばきをおこなわれる



告告

（さばき物をもって御前に来るように）

神が来る

力と栄光

新歌

栄光 御前

栄光 御前

王

97
義也
99
聖也

知

喜

1 主に主たる
2 雲と暗やみが主を取り囲み、
3 火は御前ご先立つて行き

喜喜王

地が^ニ喜んでいる
↓
ニオソが^ニ喜んでいる。

書

勝利に川の新しい歌

義 + 救

イスラエルの恵
救国々々の
公正

さばきの地を
完成

5-8 全地は勝利
を叫ぶ人びと

新しい歌を歌え
→ 勝利の歌

勝利の理由は2-3

救 → 義
国々 → 恵 眞実
地の果々 → 救

国々も民も救いを見

歌

歌

歌

救

義

奇いわざ

新しい歌

並行

うたへのもの
賛美

楽器
賛美

全地
賛美

恵み、眞実
+ 神のさばき + 救
地の果々果て

義 + 御救

奇いわざ
勝利

1

新しい歌を主に歌え。

98

賛歌

奇いわざ

御救 勝利

恵み + 眞実 + 義

救

賛美

恵、眞実 + 義

海 世界 川 山々

賛美

義

9 確かに、主は地をさばくために来られる。
主は義をもって世界をさばき、
公正をもって国々の民を、さばかれる。

8 もろもろの川よ。手を打ち鳴らせ。
山々も、こぞって主の御前で喜び歌え。
世界と、その中に住むものよ。鳴りとどろけ。
海と、それに満ちているもの。

主である王の御前で喜び叫べ。
ラッパと角笛の音に合わせて、
立琴と歌の調べに合わせて。

5 立琴に合せて、主にほめ歌を歌え。
大声で叫び、喜び歌い、ほめ歌を歌え。

4 全地よ。主に喜び叫べ。
われらの神の救いを見ている。

3 主はイスラエルの家への
恵みと眞実を覚えておられる。

2 主は御救いを知らしめ、
その右の御手と、その聖なる御腕とが、
主に勝利をもたらしたのだ。

主は、奇いわざをなさった。

10:15-11:15
11:45-12:15
12:30-

聖

→ 聖なる神

→ 祭司の中にいた
モーセ、アロン、サムエル

国々の民

いと高き神である。
→ その方は聖である。

いと高き神
と
聖なる神

前半 = さばき主
後半 = 聖め主

聖

報

答

答

祭司

聖

王の力

さばき

聖

大・高

恐

王

99

主は王である

1 主は王である。
2 主はシオンにおいて、大いなる方。
3 主はすべての国々の民の上に高くいます。
4 王の力は、さばきを愛する。
5 あなたは、ヤコブの中で、
6 モーセとアロンは主の祭司の中に、
7 彼らは、雲の柱から、彼らに語られた。
8 われらの神、主。あなたは、彼らに答えられた。
9 われらの神、主をあがめよ。
10 その聖なる山に向かつて、ひれ伏せ。
11 われらの神、主は聖である。

聖

主は王

↑

↓ ひれ伏せ
主は聖である

あがめよ

王の力

報 敵

主は聖である

答えられた
語られた > x3

祭司

↓ 主は聖である

主は王

主は王
主は王
主は王

主は聖である

↓

主は高い

→ いと高き方

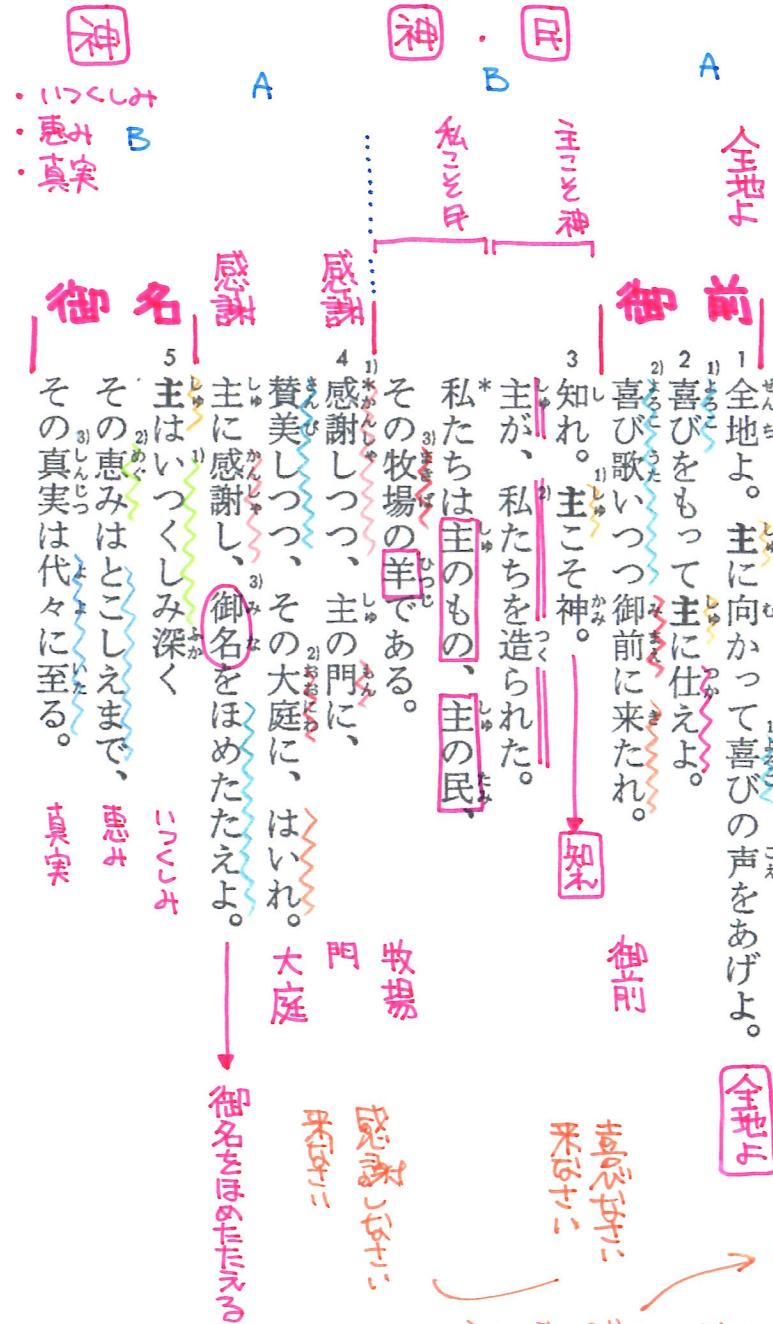
主は王

↓ 主は聖である

国々の民

国々の民 x 3

感謝喜羊創



100

感謝の賛歌

御前・喜び	大庭
私こそ民	主の御前

御前・喜び

1-11
12-17
18-22
23-28

Final
1-12
13-17
18-22
23-28

私の目

祈り

叫び

新天

[苦・叫・はれ]

私の目
はれ

主の怒り・敵をとり

はれ

私の目
キ

呼ぶ時に答えて

祈答・私

102

主の御名
主の御座

・私の日数は短かくした
・主はとこしえである

・祈り
・聞

とこしえの主
いとこしえ・あわれみ

御名

いとこしえ・あわれみ

御名

栄光

栄光

答

呼

主名

主を賛美する/主に仕える

私の日

私の日

主はとこしえ・私の日数は短い

12 しかし、主よ。あなたはとこしえに御座に着き、
あなたの御名は代々に及びます。

13 あなたは立ち上がり、
シオンをあわれんでください。

14 今やいつくしみの時です。いつくしみの
定めの時が来たからです。

15 まことに、あなたのしもべはシオンの石を愛し、
シオンのちりをいつくしみます。いつくしみ
シオン

16 こうして、国々は主の御名を恐れ、
地のすべての王はあなたの栄光を恐れましょ。

17 なぜなら、主はシオンを建て、
その栄光のうちに現われ、シオン

18 窮した者の祈りを顧み、
彼らの祈りをながしにされなかつたからです。

19 次のことが、後の時代のために書きしるされ、
新しく造られる民が

20 主を賛美しますように。

21 主はその聖なるいと高き所から見おろし、
天から地の上に目を注がれました。

22 捕われ人のうめきと聞き、
死に定められた者を解き放つために。

23 エルサレムで主を賛美するために。
また、国々の民や、王国が共に集められるとき、

24 主に仕えるために。

25 主は私の力を道の途中で弱くされ、
私の日数を短くされました。

26 私は申しました。

「わが神よ。私の日の半ばに
私を取り去らないでください。」

27 あなたの年は代々に至ります。あなたの年
あなたの年ははるか以前に地の基を据えられました。

28 天も、あなたの御手のわざです。

29 これらのものは滅びるでしよう。

しかし、あなたはながらえられます。
すべてのものは衣のようにすり切れます。

あなたが着物のように取り替えられると、
それらは変わってしまいます。

30 しかし、あなたは変わることがなく、
あなたの年は尽きることがありません。あなたの年

彼らのすえは、
あなたの前に堅く立てられましよう。」

「1-11の状態
の反対。」

祈答
都

植・主

愛
都・祈聞

⑤

主がやってくれること

A

わがたまは
主をほめたえよ

1 わがたまはよ。主をほめたえよ。
私のうちにあるすべてのものよ。

2 わがたまはよ。主をほめたえよ。
聖なる御名をほめたえよ。

3 主は、あなたにすべての答を赦し、
主の良きしてくださったことを何一つ忘れるな。

4 あなたは、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、
あなたのいのちを穴から贖い、

5 あなたは、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、
あなたの一生を良いもので満たされる。

6 主は、絶えず争ってはおられない。
あなたは若さは、わしのうちに、新しくなる。

7 主は、ご自身の道を行なわれる。
正義とさばきを行なわれる。↓正義・さばき

8 主は、あわれみ深く、情け深い。
そのみわざをイスラエルの子らに知らされた。

9 主は、絶えず争ってはおられない。
怒るのにおそく、恵み豊かである。怒

10 私たちの罪にしがたって私たちを救うことをせず、
いつまでも、怒ってはおられない。怒

11 私たちが報いることもない。
私たちが地上はるかに高いように、

12 東が西から遠く離れているように、
御恵みは、主を恐れる者の上に大きい。主恐る者 恵

13 私たちがその子をあわれむように、
父がその子をあわれむように、

14 主は、ご自分を恐れる者をあわれまれる。
主は、私たちの成り立ちを知り、主恐る者

15 私たちがうちにすぎないことを
心に留めておられる。

16 人の日は、草のよう。
野の花のように咲く。

17 風がそこを過ぎると、それは、もはやない。
その場所すら、それを、知らない。

18 しかし、主の恵みは、とこしえから、とこしえまで、
主を恐れる者の上にある。主恐る者 恵

19 主の義はその子らの子に及び、
主の契約を守る者。

20 その戒めを心に留めて、行なう者に及ぶ。
主は天にその王座を堅く立て、

21 その王国はすべてを統べ治める。
主をほめたえよ。王

22 主をほめたえよ。御使いたちよ。
みことばを行なう力ある勇士たちよ。

主をほめたえよ。
みことばを行ない、主に仕える者たちよ。

主をほめたえよ。
すべて造られたものたちよ。

主をほめたえよ。
主の治められるすべての所で。

わがたまはよ。主をほめたえよ。
主をほめたえよ。

「罪赦」

良きしてくださる
あわれみ、さばき

あわれみ I

あわれみ II

あわれみ

草 花
人は草花
のようは

心留

主の恵みは
あわれみの

主は主である
主は主である

主を主である

主は統べ治める

④

主がやってくれること

A

主をほめたえよ

みことば 行

主をほめたえよ。
主のすべの軍勢よ。

主をほめたえよ。
すべて造られたものたちよ。

主をほめたえよ。
主の治められるすべての所で。

「主の良きしてくださる」と

「主を恐る者」

罪・憐・恵

主・良・憐

主・賢 / 言行

主を恐る者よ
主をほめたえよ。

主・憐・恵

魂資

天地/水山

- 1 わがたましいよ。主をほめたたえよ。
 わが神、主よ。あなたはまことに偉大な方。
 あなたは尊厳と威光を身にまといておられます。
 2 あなたは光を衣のように着、
 天を、幕のように広げておられます。
 3 水の中に、ご自分の高殿の梁を置き、
 雲をご自分の車とし、
 風の翼に乗って歩かれます。
 4 風をご自分の使いとし、
 焼き尽くす火をご自分の召使とされます。
 5 また地をその基の上に据えられました。
 地はそれゆえ、とこしえにゆるぎません。
 6 あなたは、深い水を衣のようにして、
 地をおおわれました。
 7 水は、山々の上にとどまっています。
 水は、あなたに叱られて逃げ、
 8 山は上がり、谷は沈みました。
 あなたが定めたその場所へと。
 9 あなたは境を定め、
 水がそれを越えないようにされました。
 水が再び地をおおうことのないようにされました。
 10 主は泉を谷に送り、山々の間を流らせ、
 11 野のすべての獣に飲ませられます。
 野るばも渴きをいやします。
 12 そのかたわらには空の鳥が住み、
 枝の間でさえずっています。
 13 主はその高殿から山々に水を注ぎ、
 地はあなたのみわざの実によって
 満ち足りています。
 14 主は家畜のために草を、
 また、人に役立つ植物を生えさせられます。
 人が地から食物を得るために。
 15 また、人の心を喜ばせるぶどう酒をも。
 油によるよりも顔をつややかにするために。
 16 主の木々は満ち足りています。
 主の植えたレバノンの杉の木も。
 17 そこに、鳥は巢をかけ、
 こうのとりは、もみの木をその宿としています。
 18 高い山は野やぎのため、
 岩は岩だぬきの隠れ場。

地満

天は

天地山

民歌

地喜

- 19 主は季節のために月を造られました。
 太陽はその沈む所を知っています。
 20 あなたがやみを定められると、夜になります。
 夜には、あらゆる森の獣が動きます。
 21 若い獅子はおのれのえじきのためにほえたけり、
 神におのれの食物を求めます。
 22 日が上ると、彼らは退いて、
 自分のねぐらに横になります。
 23 人はおのれの仕事に出て行き、
 夕暮れまでその働きにつきます。
 24 主よ。あなたのみわざはなんと多いことでしょう。
 あなたは、それらをみな、
 25 知恵をもって造っておられます。
 地はあなたの造られたもので満ちています。
 26 そこには大きく、広く広がる海があり、
 その中で、はうものは数知れず、
 大小の生き物もいます。
 27 そこを船が通い、
 あなたが造られたレビヤタンも、
 28 彼らはみな、あなたを待ち望んでいます。
 あなたが時にしたがつて
 食物をお与えになることを。
 29 あなたが御手を開かれると、
 彼らは良いもので満ち足りります。
 30 あなたが御顔を隠されると、彼らはおじ惑い、
 彼らの息を取り去られると、
 彼らは死に、おのれのちりに帰ります。
 31 また、あなたは地の面を新しくされます。
 32 主の栄光が、とこしえにありますように。
 主がそのみわざを喜ばれますように。
 33 主が地に目を注がれると、地は震え、
 山々に触れられると、山々は煙を上げます。
 34 私は生きているかぎり、主に歌い、
 いのちのあるかぎり、私の神にほめ歌を歌いましょう。
 35 私の心の思いが神のみこころにかないますように。
 私自身は、主を喜びましょう。
 36 罪人らが地から絶え果て、
 悪者どもが、もはやいなくなりますように。
 わがたましいよ。主をほめたたえよ。
 ハレルヤ。

- 1 主に感謝して、御名を呼び求めよ。
 2 そのみわざを国々の民の中に知らせよ。
 3 主に歌え。主にほめ歌を歌え。
 4 そのすべての奇しいみわざに思いを潜めよ。
 5 主の聖なる名を誇りとせよ。
 6 主を慕い求める者の心を喜ばせよ。
 7 主とその御力を求めよ。
 8 絶えず御顔を慕い求めよ。
 9 主が行なわれた奇しいみわざを思い起こせ。
 10 その奇蹟と御口のさばきとを。
 11 主のしもべアブラハムのすえよ。
 12 主に選ばれた者、ヤコブの子らよ。
 13 この方こそ、われらの神、主。
 14 そのさばきは全地にわたる。
 15 主は、ご自分の契約をとしえに覚えておられる。
 16 お命じになったみことばは千代にも及ぶ。
 17 その契約はアブラハムと結んだもの、
 18 イサクへの誓い。
 19 主はヤコブのためにそれをおきてとして立て
 20 イスラエルに対する永遠の契約とされた。
 21 そのとき主は仰せられた。
 22 「わたしはあなたがたの相続地として
 23 あなたに、カナンの地を与える。」
 24 そのころ彼らの数は少なかった。
 25 まことにわずかで、そのうえそこでは、
 26 寄留の他国人であった。
 27 彼らは、国から国へ、
 28 一つの王国から他の民へと渡り歩いた。
 29 しかし主は、だれにも彼らをしいたげせず、
 30 かえって、彼らのために王たちを責められた。
 31 「わたしの油こそがれた者たちに触れるな。」
 32 こうして主はききを地の上に招き、
 33 パンのための棒をことごとく折られた。
 34 主はひとりの人を彼らにさきがけて送られた。
 35 ヨセフが奴隷に売られたのだ。
 36 彼らは足かせで、ヨセフの足を悩まし、
 37 ヨセフは鉄のかせの中にはいった。
 38 彼のことがそのとおりになる時まで、
 39 主のことは彼をためした。
 40 王は人をやってヨセフを解放し、
 41 国々の民の支配者が、彼を自由にした。
 42 王はヨセフを自分の家のかしらとし、
 43 自分の全財産の支配者とした。
 44 これはヨセフが意のままに王の高官を縛り、
 45 王の長老たちに知恵を与えるためだった。
 46 イスラエルもエジプトに行き、
 47 ヤコブはハムの地に寄留した。
 48 主はその民を大いにふやし、
 49 彼らの敵よりも強くされた。

御名

かなん

感謝・みわざ

契約・賞

ことばのつづ

みわざ・かなん

かなん・エジプト

かなん・ことば・賞

- 25 主は人々の心を変えて、御民を憎ませ、
 26 彼らに主のしもべたちを、ずるくあしらわせた。
 27 主は、そのしもべモーセと、
 28 主が選んだアロンを遣わされた。
 29 彼らは人々の間で、主の数々のしるしを行ない、
 30 ハムの地で、もろもろの奇蹟を行なった。
 31 主はやみを送って、暗くされた。
 32 彼らは主のことがばに逆らわなかった。
 33 主は人々の水を血に変わらせ、
 34 彼らの魚を死なせた。
 35 彼らの地に、かえるが群がった。
 36 王族たちの奥の間にまで。
 37 主が命じられると、あぶの群れが来た。
 38 ぶよが彼らの国中にはいった。
 39 主は雨にかえて雹を彼らに降らせ、
 40 燃える火を彼らの地に下された。
 41 主は彼らのぶどうの木と、いちじくの木を打ち、
 42 彼らの国の木を砕かれた。
 43 主が命じられると、いなごが来た。
 44 若いいなごで、数知れず、
 45 それが彼らの国の青物を食い尽くし、
 46 彼らの地の果実を食い尽くした。
 47 主は彼らの国の初子のことごとく打たれた。
 48 彼らのすべての力の初めを。
 49 主は銀と金とを持たせて御民を連れ出された。
 50 その部族の中でよろける者はひとりもなかった。
 51 エジプトは彼らが出たときに喜んだ。
 52 エジプトに彼らへの恐れが生じたからだ。
 53 主は、雲を広げて仕切りの幕とし、
 54 夜には火を与えて照らされた。
 55 民が願うと、主はうずらをもたらし、
 56 また、天からのパンで彼らを満ち足らわせた。
 57 主が岩を開かれると、水がほとばしり出た。
 58 水は砂漠を川となって流れた。
 59 これは主が、そのしもべアブラハムへの
 60 聖なることばを、覚えておられたからである。
 61 主は御民を喜びのうちに連れ出された。
 62 その選ばれた民を喜びの叫びのうちに。
 63 主は、彼らに国々の地を与えられた。
 64 彼らが国々の民の労苦の末を
 65 自分の所有とするために。
 66 これは、彼らが主のおきてを守り、
 67 そのみおしえを守るためである。
 68 ハレルヤ。

1 ハレルヤ。主に感謝せよ。
主はまことにいつくしみ深い。
その恵みはとこしえまで。
2 だが、主の全能のわざを語り、
そのすべての誉れをふれ知らせることができよう。
3 幸いなことよ。
4 主よ。あなたが御民を愛されるとき、私を心に留め、
あなたの御救いのとき、私を顧みてください。
5 そうすれば、私は
あなたに選ばれた者たちのしあわせを見、
あなたの国民の喜びを喜びとし、
あなたのものである民とともに、
誇ることができるでしょう。
6 私たちは先祖と同じように罪を犯し、
不義をなし、悪を行なった。
7 私たちの先祖はエジプトにおいて、
あなたの奇しいわざを悟らず、
あなたの豊かな恵みを思い出さず、
かえって、海のほとり、葦の海で、逆らった。
8 しかし主は、御名のために彼らを救われた。
それは、ご自分の力を知らせるためだった。
9 主が葦の海を叱ると、海は干上がった。
主は、彼らを行かせた。深みの底を。
10 主は、憎む者の手から彼らを救い、
敵の手から彼らを贖われた。
11 水は彼らの仇をおおい、
そのひとりさえも残らなかった。
12 そこで、彼らはみことばを信じ、
主への賛美を歌った。
13 しかし、彼らはすぐに、みわざを忘れ、
そのさとしを待ち望まなかった。
14 彼らは、荒野で激しい欲望にかられ、
荒地で神を試みた。
15 そこで、主は彼らにその願うところを与え、
また彼らに病を送ってやせ衰えさせた。
16 彼らが宿営でモーセをねたみ、
主の聖徒、アロンをねたんだとき、
17 地は開き、ダタンをのみこみ、
アピラムの仲間を包んでしまった。
18 その仲間の間で火が燃え上がり、
炎が悪者どもを焼き尽くした。
19 彼らはホレブで子牛を造り、
神物の像を拝んだ。
20 こうして彼らは
彼らの栄光を、草を食らう雄牛の像に取り替えた。
21 彼らは自分たちの救い主である神を忘れた。
エジプトで大きなことをなさった方を。
22 ハムの地では奇しいわざを、
葦の海のほとりでは恐ろしいわざを、
行なわれた方を。
23 それゆえ、神は、
「彼らを滅ぼす。」と言われた。
もし、神に選ばれた人モーセが、
滅ぼそうとする激しい憤りを避けるために、
御前の破れに立たなかつたら、
↓モーセ
どうなっていたのか。

「神罰の時にイスラエルとモーセが間に立た。」
先祖 先祖
神罰
心に残る
信じてない
「偶像礼拝」
怒
救
忘
「主が思い起こす」
契約

24 しかも彼らは麗しい地をさげすみ、
神のみことばを信ぜず、
25 自分たちの天幕でつぶやき、
主の御声を聞かなかった。
26 それゆえ、主は彼らにこう誓われた。
彼らを荒野で打ち倒し、
27 その子孫を国々の中に投げ散らし、
彼らをもろもろの地にまき散らそうと。
28 彼らはまた、バアル・ペオルにつき従い、
死者へのいけにえを食べた。
29 こうして、その行ないによって御怒りを引き起こし、
彼らの間に神罰が下った。
30 そのとき、ビンハスが立ち、
なかだちのわざをしたので、その神罰はやんだ。
31 このことは、代々永遠に、
彼の義と認められた。
32 彼らはさらにメリバの水のほとりで主を怒らせた。
それで、モーセは彼らのために
わざわいをこうわった。
33 彼らが主の心に逆らったとき、
彼が軽率なことを口にしたからである。
34 彼らは、主が命じたのに、国々の民を滅ぼさず、
35 かえって、異邦の民と交わり、
そのならわしにならい、
36 その偶像に仕えた。
37 彼らは自分たちの息子、娘を
悪霊のいけにえとしてささげ、
38 罪のない血を流した。
カナンの偶像のいけにえにした
彼らの息子、娘の血。
39 こうしてその国土は血で汚された。
その行ないによっておのれを汚し、
その行ないによって姦淫を犯した。
40 それゆえ、主の怒りは御民に向かって燃え上がり、
ご自分のものである民を忌みきらわれた。
41 それで彼らを国々の手に渡し、
彼らを憎む者たちが彼らを支配した。
42 敵どもは彼らをしいたげ、
その力のもとに彼らは征服された。
43 主は幾たびとなく彼らを救い出されたが、
彼らは相計って、逆らい、
自分たちの不義の中におぼれた。
44 それでも彼らの叫びを聞かれたとき、
主は彼らの苦しみを目を留められた。
45 主は、彼らのために、ご自分の契約を思い起こし、
豊かな恵みゆえに、彼らをあわれまれた。
46 また、彼らを、捕え移したすべての者たちから、
彼らがあわれまれるようにされた。
47 私たちの神、主。私たちをお救いください。
国々から私たちを集めてください。
あなたの聖なる御名に感謝し、
あなたの誉れを勝ち誇るために。
48 ほむべきかな。イスラエルの神、主。
とこしえから、とこしえまで。
すべての民が、「アーメン。」と言え。
ハレルヤ。

主を忘れた偶像礼拝
神罰
主が思い起こす
契約

主を忘れた偶像礼拝
神罰
主が思い起こす
契約